

平成26年6月青葉区議員団会議 会議録

開催日時	平成26年6月9日(月) 午後4時15分から午後5時40分まで
場 所	青葉区役所4階特別会議室
出席者	【議長】丸岡いつこ議員 【議員：8名】赤野たかし議員、内田美保子議員、菅野義矩議員、行田朝仁議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員、横山正人議員、若林智子議員
	【説明局員(青葉区)：30名】 徳江雅彦 区長、大野敏美 副区長、勝島聡一郎 福祉保健センター長、小嶋哲夫 福祉保健センター担当部長、榎重善 青葉土木事務所長 ほか関係職員
次 第	報告事項 1 平成26年度青葉区区政運営方針について 2 第3期青葉区地域福祉保健計画の策定について 3 「横浜市民読書活動推進計画」に基づく区の目標の策定検討について 4 青葉スポーツセンター利用団体関係者への脅迫文送付に伴う対応について 5 その他
報告事項1	平成26年度青葉区区政運営方針について
発言の要旨	(特になし)
報告事項2	第3期青葉区地域福祉保健計画の策定について
発言の要旨	行田議員 2025年問題をどうやって乗り越えるかが全市的な問題になっている。区としてやるべきことと地域としてやるべきことがあるが、今の段階からやらないと、とても10年後なんて難しいと思う。具体的にどうするかという議論はしたのか。
	松永福祉保健課長 色々な取組をしている地域もあるので、ワークショップ等で地区ごとに検討する中で出てくる意見を区の計画にも反映していきたい。
	行田議員 地域ごとに温度差があると思う。心配なのは「役所でこう考えているからこうやってください」となること。2025年問題が相当大きな問題だと、おそらくみなさんはわかっていらっしゃるの、支えるんだ、漏らさないんだという前提で気合を入れてやっていただきたい。
	山下議員 介護予防というものをもう少し前面に出していけないか。推進会議の中に歯科医師会の代表も入っているが、最近の歯科は予防医療にかなりシフトしている。そうした専門家の取組をもっと濃く入れられないか。医師会にしる柔道整復師にしる、推進会議には色々な専門家の方がいる。そういう人達に個別ヒアリングのようなことをやっているのか。
	松永福祉保健課長 専門的な分野の団体の個別ヒアリングは想定していなかった。地域単位の検討では地域の専門の方も入ってくるので、そういう方々の意見も踏まえて計画に反映していければと思っている。
	山下議員 医師会や歯科医師会や薬剤師会、柔道整復師会等色々な団体が青葉区の場合は大変協力的だ。歯科医師の方々はかなり進んだことを考えて取り組んでいる。横浜市の財政的にも介護費用はかなり大きい。計画を作るもう少し早い段階で、健康寿命を延ばすというところの取組にもうちょっと力を入れていただきたい。
	若林議員 介護保険事業計画も平成27年度から進んでいくが、策定プロセスが異なる中でどのようなバランスを考えているのか。
	松永福祉保健課長 介護保険事業計画や高齢者保健福祉計画は市の計画であり、我々がこれから作ろうとしているのは区の計画で、それぞれ視点が異なるが、整合性は当然図っていかなければならないので、意識しながら計画を作っていきたい。

発言の要旨	若林議員	<p>区の計画と市の計画は位置付けは違うが、特に地域支援事業が大きく変わるなかで、今まで以上にどうつないでいくのかというところをしっかりとやっていただきたい。</p> <p>もう一点、計画の対象者は高齢者だけではなく多様な世代だが、策定メンバーに子育て世代などの多様な世代がきちんとコミットできているのか。</p>
	松永福祉保健課長	<p>年2回開催する地域福祉保健推進会議には、地域ケアプラザの所長代表や子育て支援拠点ラフールの施設長の方も入っており、広く参加していただいている。</p>
	赤野議員	<p>高齢化が青葉区より進んでいる地域の先進例や、市内でこれまでも行われている取組について、区から情報提供することはされているのか。</p>
	松永福祉保健課長	<p>地区別計画推進会議で、状況により、他区や他の地域の活動を我々から紹介して、今後の活動の参考にしていただくということはやっている。</p>
	藤崎議員	<p>2025年問題を前提にした地域包括ケアシステムという言葉も、厚生労働省も県も市も、市長も健康福祉局長も言っているが、この資料の中には出てこない。何か理由があるのか。</p>
	松永福祉保健課長	<p>特に理由はないが、意識しなければならないことは重々承知している。</p>
	藤崎議員	<p>これからはこういうキーワードが前提となってお金もついてくる。また、地域の人達も「この事業の中のひとつなんだ」とわかるということがあると思うので、地域として、青葉区としてやっていくにあたって入れておいたほうがいいと思う。</p>
報告事項3	「横浜市民読書活動推進計画」に基づく区の目標の策定検討について	
発言の要旨	山下議員	<p>この計画の目標を設定することによって、何が変わるのか、何を变えたいのか。</p>
	功刀地域振興課長	<p>横のつながりを作っていきたい。</p> <p>たとえば学校では朝の読書や調べ学習が行われている。条例では毎月23日を市民の読書の日としているが、現時点ではなかなか出来ていない部分もあるので、学校と一緒に話し合い、取り組んでいただく方向性となっている。</p> <p>読み聞かせについては、青葉区内に団体が結構あり、個々で活動していただいているが、地域の子育て拠点や乳幼児健診という場面との連携が出来ていないので、そういったところもコーディネートして、赤ちゃんの時から本に親しめるようにしていきたい。</p> <p>また、読書に関わる施設では、それぞれで色々な活動が行われているが、それらの横のネットワークを作ることで、青葉区全体の読書活動を活性化させるということを考えている。</p>
	山下議員	<p>読書となると中心になる施設は図書館だと思うが、この計画が出来ることによって図書館はどう変わっていくと考えているか。</p>
	功刀地域振興課長	<p>図書館は現在でも学校への支援を行っている。また、読み聞かせの団体や利用者との懇談会を行っているので、その中で検討を進めていきたい。</p> <p>また、読書計画の目標策定にあたっては、推進会議にかける前に、事務局レベルで、図書館・学校の先生方・区役所の3者で情報共有し、また、ワーキングという形で幅広く、施設・団体の方にも入っていただいて議論を進めている。</p>
	山下議員	<p>説明を聞いていると、推進会議が大事になってくると思うが、この会議の委員は誰が決めたのか。</p>
	功刀地域振興課長	<p>図書館・学校の先生方・区役所の3者で決めている。</p>
	山下議員	<p>ひとつだけ気になるのは、委員候補の中に民間企業の有隣堂が入っていること。有隣堂は山内図書館の指定管理者となっている。指定管理は今年度で期限が切れて、更新をどうするかという微妙な時期を迎えている。</p> <p>図書に関わる事業者を入れたいのであれば、もっと色々な団体があるのではないか。</p>

	<p>坪内読書活動推進担当課長 条例に定める「地域における取組」の中でも、民間団体及び事業者は非常に重要な位置付けで盛り込まれており、有隣堂にはその代表ということで委員の候補に入っていた。</p> <p>有隣堂はやはり横浜の中の書店ということで、今までの横浜の読書活動に企業の立場で大きな役割を果たしてきた。そこで培った知見を目標策定にも生かしてもらいたいという趣旨で委員に入っていた。指定管理者を受けている一事業者ということとは切り離して考えていただきたいと我々は考えている。</p> <p>先生がおっしゃったような微妙な問題が推進計画の策定に反映されることがないよう、有隣堂には十分ご理解いただいて委員候補に入っていた。</p> <p>また、読書活動が推進されることによって、山内図書館を含む図書館は当然変化する、サービスも向上することを狙いとする必要がある。</p> <p>図書館は元々、利用者によって成長するものと我々は考えてサービスを行っており、今回の目標策定がいい意味で図書館にも影響を与えるものと、我々図書館の立場では考えている。</p>
<p>山下議員</p>	<p>有隣堂が市内の企業であって、横浜市の色々な図書館にたくさん本を納入している業者で、横浜市の読書活動に色々関わっていただいているということは十分承知しているが、事業者の知見を活かすのであれば、発言に制限をかけなければいけないような方をあらかじめ委員に入れること自体、やはり問題があるのではないかと聞いている。</p> <p>事業者はいっぱいある。読書のこと、本のことを聞きたいのであれば、いくらでも委員になる方はいるのではないかと。</p>
<p>徳江区長</p>	<p>有隣堂は、今の山内図書館の運営に携わっている者という立場で委員の候補に加わっているもので、指定管理者が変われば委員も変わるものと私も誤解していた。</p> <p>先生のおっしゃるとおりの懸念は一方であると思う。委員から事業者を外すとか、あるいは逆にもっと増やすとか、色々な工夫があるかと思うので、一回引き取って検討させていただきたい。</p>
<p>横山議員</p>	<p>書籍を扱う事業者は、他区でも推進委員に入っているのか。</p>
<p>坪内読書活動推進担当課長</p>	<p>保土ケ谷区では、区の書籍商業組合の代表の方が入っていると聞いている。</p>
<p>横山議員</p>	<p>企業が委員の中に入っているケースというのは他にあるのか。</p>
<p>坪内読書活動推進担当課長</p>	<p>書店関係以外の企業は、特に聞いていない。</p>
<p>横山議員</p>	<p>書店関係の企業ではどういうところに入っているのか。</p>
<p>坪内読書活動推進担当課長</p>	<p>把握している限りでは、先ほど申し上げたとおり、地元の書店の代表の方である。青葉区でも今回、様々な企業がある中から検討した。その中で、山内その他の図書館を実際に運営している経験や、横浜での書店の位置付け等から、やはり有隣堂の意見というのが目標策定の中でも重要だろうという意味で、今回委員に入れさせていただいた。</p> <p>しかし、これについては先ほど区長からもご説明したとおり、改めて検討させていただく。</p>
<p>横山議員</p>	<p>今回、山内図書館長が事務局に入っているが、他区でもその地域の図書館長が事務局に入っているということか。</p>
<p>坪内読書活動推進担当課長</p>	<p>事務局には地域の図書館長がそれぞれ入っている。</p>

発言の要旨	横山議員	<p>今回の委員の構成を見ると、小中学校の校長会会長や保育園長が入っているなど、子どもについては非常に手厚くなっているが、今回の条例の対象は市民全体を網羅していて、大人の読書活動も推進していきましょうという趣旨になっている。</p> <p>たとえば今は、テレビドラマに代表されるような、テレビという媒体をきっかけに原作本に接して本に親しむというケースが非常に増えてきていると思う。本屋で本を選ぶというところから、きっかけがマルチメディアになってきている。</p> <p>青葉区民だけでなく、横浜市民が読書に触れる背景について、どのように考えているのか。</p>
	坪内読書活動推進担当課長	<p>確かに、読書に触れる入り方はそれぞれで、メディアが非常に多様化して独自性を持っている現在では、そこから興味を持って原作に触れるというのは非常に有効な手段だと思う。</p> <p>テレビドラマと原作というのは、また全然違うものがある。原作の面白さに気付いて、またそこから読書に新たな興味が湧くと思うので、入り口の多様性があってよいと思う。</p> <p>青葉区民の方々は、読書意欲だけでなく様々なメディアに対する意欲も高いと思われ、色々な入り口をご自分で見つけていらっしゃるのではないかと。</p>
	横山議員	<p>スポンサーシップを取って事業を展開していくようなことも考えていったらよいと思う。たとえば電子図書の普及など、新しい分野の入り口にしたいと考えている企業が協力してくれる可能性もある。</p> <p>できるだけ広く、企業の支援なども募って展開していただきたい。</p>
	菅野議員	<p>実際に図書館の運営に携わっているのは民間の人なのだから、色々な経験も含めて意見をいただくのは大切。</p> <p>一方で指定管理者の問題もあり、民間から一社だけというのは誤解される部分もあるので、もう一社とか二社とか入っていただいて、誤解されないようにするのが大切ではないかと。</p>
	内田議員	<p>図書館は今、過渡期にあると思う。IT社会になって、大人はきっかけがないと本を読まなくなっている。</p> <p>たとえば、朝の連続テレビドラマが下敷きになっている「赤毛のアン」を題材に、関連性のある本がこんなにいっぱいありますよ、とか、今月のおすすめの本はこれ、と区の広報物で挙げる、専門性の高い本を毎回どこかで取り上げるなどして、メディアと絡ませたり、民間を巻き込んで、楽しい図書館というものを目指してもらいたい。</p> <p>古くていい図書館もあるが、今の感覚を取り入れて図書館が変わるチャンスだと思う。</p> <p>そういう意気込みのようなものがあれば聞きたい。</p>
	坪内読書活動推進担当課長	<p>図書館というのは利用者によって成長するわけだし、時代の流れによって当然に変化していかなければならないと考えている。</p> <p>ITの進展を捉えて、書籍だけでなく様々な媒体と連動させて読書の楽しみを知っていただくことも、図書館の大事な役割であり、今後のサービスや読書活動の目標策定にも反映していきたい。</p>
	藤崎議員	<p>これまで有隣堂が青葉区で行ってきた特徴ある取組の蓄積の中には、他の地域にも生かせるものがあるのではないかと。</p> <p>そういった情報の共有、他に生かしていくような取組はあるか。</p>
	坪内読書活動推進担当課長	<p>全区の読書活動推進に携わる事務局が一同に集まる情報共有会議が、定期的開催されている。その中で情報共有する仕組みが出来ている。</p>
	藤崎議員	<p>それぞれの地域でいい取組があると思うので、青葉区は青葉区、ではなく、是非共有しながらやっていただきたい。</p>
	赤野議員	<p>区内の図書館や図書館以外で本の貸し出しを行っている施設、小中学校で市民図書室が整備されているところなどを掲載した区民マップのようなものはあるか。</p>
功刀地域振興課長	<p>蔵書がどれくらいあるかや開館時間、施設の特徴などを掲載したものを図書館で配付している。また、青葉区に転入された方にも区役所で配付している。</p>	
赤野議員	<p>すでにお住まいの方も含めて、区民全体に渡るような環境整備を検討していただきたい。</p>	

発言の要旨	横山議員 佐賀県の武雄市図書館に行った時に面白いコーナーがあった。子ども達に読んで欲しい本に「文部科学省推薦図書」などという帯がついていることがあるが、それを見て読もうと思う子どもが本当にいるのかなと思う。武雄市図書館には、中学生や小学生に特化して「中学生はこれを読め」というコーナーがあり、中学生に読んで欲しい本が書棚に飾ってあったが、非常に新鮮だった。読みたくなるという気持ちを是非大切に、議論を重ねていただきたい。
報告事項4	青葉スポーツセンター利用団体関係者への脅迫文送付に伴う対応について
発言の要旨	山下議員 青葉警察署の捜査状況はどう聞いているか。
	花内総務課長 まだ捜査中と聞いている。
	山下議員 前回も同様の事案があったが、前回の利用団体と今回の利用団体で、かぶっているところはあるか。
	花内総務課長 それについては、捜査情報に関わる部分ということで、警察のほうから公表は控えるよう言われている。
	菅野議員 以前から話は出ているが、議員団会議は県会・市議員が揃って出席しているわけで、我々も区民・市民の立場で警察に聞きたい課題がいっぱいある。警察署長とは言わないが、警察の担当の方でいいから是非出席していただきたいと改めてお願いします。
花内総務課長 どのタイミングで出席していただけるかはわからないが、警察には伝えさせていただく。	
報告事項5	その他（青葉区議員団会議・会議資料の公開について）
発言の要旨	横山議員 ホームページ上で公開する際に、この会議がどういう趣旨のものなのか説明しないと、唐突に会議録だけ出ても区民の方もわからないと思う。その点、見せ方についてどう考えているか。
	花内総務課長 議員団会議の位置付けを含めて説明した上で、資料をアップしていきたい。
	横山議員 会議を進めていく上で配られる資料がかなり多く、会議録を見ただけではわからないと思う。出来れば資料も公開できるように配慮してほしい。
	花内総務課長 会議録だけでなく、資料もアップする形で手続を進めている。
報告事項5	その他（東アジア文化都市2014横浜「片岡リサ 日・中・韓 絃の響き」及び「青葉の逸品（スイーツ編）」について）
発言の要旨	横山議員 「青葉の逸品」は商店街連合会が作っているもので、商店街に加盟していないとダメなのか。
	功刀地域振興課長 そのとおり。
その他（区役所駐車場のEV（電気自動車）充電スペースについて）	
発言の要旨	横山議員 前回の議員団会議でも発言したが、空いている時は空いているが、満車になるとやはり停まっている。何とか工夫できないものか。
	花内総務課長 前回ご意見をいただいてから、すぐに貼り紙はしている。また、EV車充電スペースのコーンを置いた。それに加えて路面に「ここはEV充電スペースです」というペイントをする準備を進めている。天候次第だが、6月中には出来ると思う。